



労福協ロゴ

flash news

福岡県労働者福祉協議会

No. 13-3

2013年12月5日

福岡市博多区店屋町 6-5
小松ビル2階
(社)福岡県労働者福祉協議会
TEL 092-263-3141
FAX 092-263-3121

福岡県知事へ県予算編成に係る要請書を提出



福岡県労福協は11月27日(水)、福岡県平成26年度予算編成に係るところの制度・政策要求事項の要請書を小川洋福岡県知事に対して提出しました。

要請書手交式には、福岡県労福協から高島理事長他5名が出席をしました。また、連合福岡議員懇会長の富田県議と同事務局長の原田県議にも同席を頂きました。なお、福岡県側からは小川洋福岡県知事、福祉労働部の家守労働局長、竹野労働政策課長の出席を頂きました。

手交式は10時45分から福岡県労福協の大原専務理事の司会進行で始まり、まず、労福協側の自己紹介を行い、労福協側出席者を代表して高島理事長から要請主旨を含めた挨拶を行いました。その後、高島理事長から小川洋福岡県知事に対して要請書の手交を行いました。



要請書手交式の模様／小川洋福岡県知事の挨拶

小川洋福岡県知事から「要請内容について担当部局で精査を行い県政に活かしていきたい。」とコメントがありました。県政の課題については「国内景気は持ち直しているが、県民一人一人や県内企業が元気になることが大事であるので、その対策を講じていきたい。」と決意が述べられました。また、雇用・労働問題について「雇用の機会をつくるのが大事で、額に汗して働く人たちが報われる社会をめざしていきたい。」労働問題では「政府に対して最低賃金の引上げの要望書を提出、これは全国でも福岡県だけである。また、県内4箇所の労働者支援事務所において労働相談等への対応も実施している。」など県の取り組みを述べられました。その後、若干の懇談を行い要請書手交式は11時に終了しました。

[要請事項]

- 協同組合の促進・支援について
- 東日本大震災の被災者・避難者への支援について
- 格差・貧困社会是正、セーフティネットの強化対策について
- 多重債務対策について
- 中小企業勤労者の企業内福利厚生の充実について
- 暮らしの安全・安心の確保について
- 労働者福祉事業に対する助成について
- 福岡県民さわやかマラソン大会への助成について
- 労働者祭典への助成について
- 勤労者支援事業に対する預託について
- 生協の事業活動に対する支援、助成等について

平成25年度福岡県勤労者知事表彰式

福岡県は11月28日、福岡市内のホテルにおいて、長年にわたり職務に精励し、功績のあった勤労者を表彰する式典を開催しました。

式典では、福岡県福祉労働部の家守労働局長が小川洋福岡県知事のメッセージを代読。来賓挨拶では、福岡県労働者福祉協議会の高島理事長からお祝いの挨拶がありました。その後、福岡(4名)・北九州(8名)・筑後(6名)・筑豊(4名)の4地区毎に受賞者へ表彰状と記念品の授与が行われ、受賞者22名を代表して、株式会社ムーンスター(筑後地区)の稲富たかよさんから謝辞が述べられ表彰式を終りました。

式典終了後、地区毎に記念撮影が行われました。



表彰式模様／福岡地区受賞者表彰



記念撮影／北九州地区受賞者の方々

福岡県労福協は、福岡県知事への要請行動を毎年11月に実施していますが、今年度は要請内容(制度・政策課題の要求案)について、会員団体の担当者を委員とする制度政策委員会を設置し、中央労福協の取組みとも連携しながら要求案を審議。理事会での承認、決議を経て、11月27日に福岡県知事へ提出しました。

反貧困キャラバン in 福岡シンポジウム

「反貧困全国キャラバン 2013in 福岡」の取り組みでは、弁護士・司法書士が中心となり実行委員会を結成し、労働団体やNPO組織が加わって企画等にあたりました。なお、福岡県労福協も大原専務理事が実行委員会に加わりました。

全国キャラバンの福岡受入れは、9月12日～14日で久留米市・福岡市・北九州市で街宣行動を実施しました。福岡実行委員会では、関係団体間の連携を更に強化することなどを目的に、シンポジウムの開催を企画し11月22日、福岡市内において「人間らしい生活と労働の保障を求めて、つながろう！」をスローガンに掲げて“反貧困キャラバン in 福岡シンポジウム”を開催しました。

シンポジウムには約70名が参加しました。基調講演では、中日新聞名古屋本社生活部編集委員の白井康彦氏より、「記者から見た日本の貧困の現実」と題して講話がありました。また、ディスカッションでは、筑紫女学園大学人間科学部人間科学科の池田和彦教授と白井康彦氏で、「生活保護基準の引き下げ～安倍政権が狙うもの!」をテーマに行われ、生活保護基準の引き下げに関わる問題で、白井氏は「生活補助基準切り下げの物価指標『生活扶助相当CPI(消費者物価指数)』は偽装されたものである」と厳しく批判をしました。また、池田氏も「厚労省が言う基準で算出してもおかしい」と疑問を呈すなど、生活保護基準の引き下げを問題視する内容でありました。

生活なんでも相談ダイヤル ライフサポートふくおか

日常生活の中で色々な悩みや不安が生じたとき、一緒になって問題解決をはかります。相談機関ネットワークを使っての専門的なアドバイスの他、各種施設やサービス等が利用できる情報の提供も行っています。

【生活相談】

【法律相談】

【労働相談】

相談受付／平日 10時～17時

※相談・取次は原則無料ですが、専門家に相談する場合、別途料金がかかる場合がありますので、ご了承ください。

また、面談による相談は事前の予約が必要です。

電話 092-400-6215

労働相談専用 0120-154-052

FAX 092-263-3121

e-mail roufuku@h8.dion.ne.jp

所在地：福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル1階
運営：一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

中央労福協 第61回定期総会

中央労福協は11月29日、東京都内のホテルにおいて第61回定期総会を開催し、2012～2013年度の活動報告及び決算報告並びに2014～2015年度活動方針案及び予算案等について審議し、全ての提出議案が満場一致で可決・承認されました。

第61回定期総会は、田中秀和副会長(労金協会)の開会挨拶で13時30分に開会しました。議長団には大原始代議員(福岡県労福協)と小林裕子代議員(ワーカーズコープ)を選出し、議事進行が行われました。

中央労福協を代表して挨拶に立った古賀申明会長は「労働者福祉の課題は山積しているが、これまでの歴史・理念、役割を再確認しつつ、これから2年間を“連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会”への基盤、システムづくりに重点を置いて、取り組まなければならない。」と決意を述べました。



議長団を代表して挨拶をする大原始代議員

来賓挨拶では、最初に連合の神津事務局長の挨拶。引き続き、民主党、公明党、社会民主党、厚生労働省、日弁連の5団体の代表から挨拶の後、自民党・石破幹事長からのメッセージを含めて15通の祝辞が披露されました。



議案に対する質疑では、福島県労福協の代議員から被災地支援に対する御礼と、引き続きの復興に向けた支援の要請がありました。また、全労金の代議員からは、労金労組と全労済労組共催によるシンポジウム開催に向けた協力要請がありました。

役員改選では、役員選考委員会からの提案通り、古賀申明会長をはじめとする新役員について満場一致承認され、第61回定期総会は16時に閉会しました。

新役員

役職	氏名	出身団体等
会長	古賀 申明	連合会長
副会長	山本 幸司	連合参与
	渡邊 和夫	フード連合
	半沢 美幸	電機連合
	勝野 圭司	全建総連
	田中 秀和	労金協会
	原 日出夫	全労済
事務局長	和田 寿昭	日本生協連
	遠藤 幸男	東部労福協
	大塚 敏夫	連合参与
会計監査	工藤 智司	基幹労連
	神田 幸弘	紙パ連合
	羽田 秀司	全労済